区局連携事業　予算要求調書

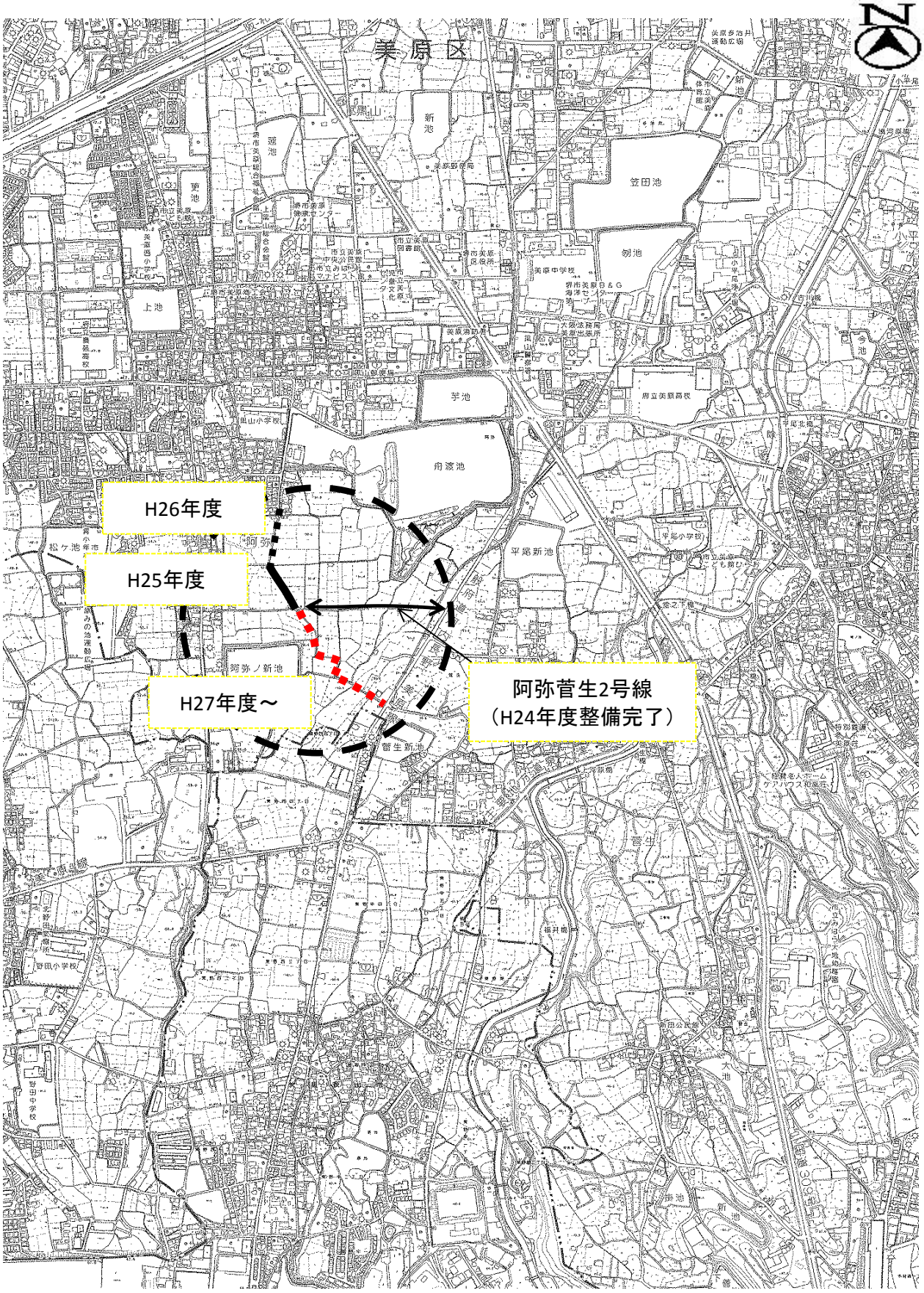
【美原区】

要求額総額　67,623（千円）　単位（千円）

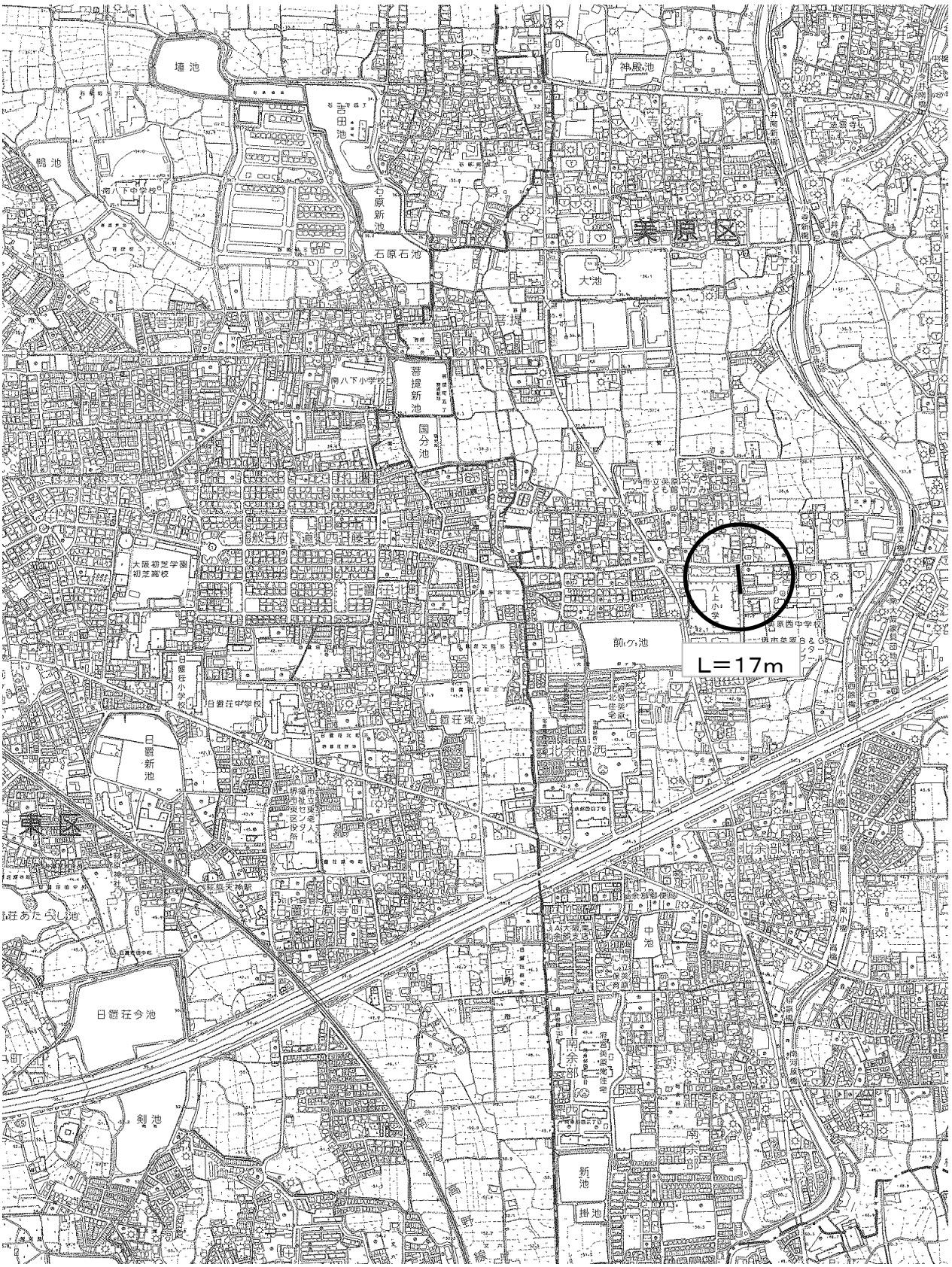
1	事業名称	阿弥菅生１号線道路改良工事
	区長意見	阿弥菅生１号線は、現状、未舗装で狭あいな市道で、美原地域審議会での意見や地区からの要望もある事業である。また、より安全で快適な居住環境や地域社会につながり、区のビジョンの基本方針の一つである「安全・安心がつながるまちづくり」に資する事業である。
	事業所管局意見 （建設局　北部地域整備事務所）	本路線は、地域の幹線道路として平成２４年度に築造された阿弥菅生２号線に接続するが、未舗装、狭あいな道路である。美原地域審議会での意見や地元要望を受け、通行の安全性や利便性の向上を図るため、平成25年度から水路暗渠化による拡幅整備を行っている。
	事業概要	水路を暗渠化し、道路の拡幅整備を行なう。平成27年度以降の事業実施のため、境界調査測量及び実施設計を行なう。 工事延長　L＝120m H27年度以降実施区間の境界調査測量及び実施設計　L=250m
	事業費	22,000　（千円）
2	事業名称	大饗１８号線歩道設置工事
	区長意見	今回整備を行なう箇所は、校区役員からの声もあがっている箇所でもあり、また、小学校・中学校に隣接の通学路で、信号待ちの児童が待機するスペースとして非常に重要な部分である。この工事を行うことで、学童の登下校の安全性の向上が図れ、区のビジョンの基本方針である「安全・安心がつながるまちづくり」及び「地域で子どもを育むまちづくり」に資する事業である。
	事業所管局意見 （建設局　北部地域整備事務所）	学童が横断する府道西藤井寺線との交差点付近において、農業用水路が隣接しているため歩道幅員が狭くなっている。水路を暗渠化する事により歩道幅員を拡げ、学童の安全な歩行空間を確保する必要がある。
	事業概要	隣接する水路を暗渠化し歩道の拡幅整備を行なう。 工事延長　L＝17m
	事業費	4,000　（千円）
3	事業名称	府道大阪狭山線道路整備工事
	区長意見	本路線は主要幹線道路にもかかわらず、当該箇所において側溝未整備区間となっているもので、今年度のタウンミーティングの結果、区局連携予算について、校区役員から区にも相談があったもの。迅速な整備が必要な本事業は、区局連携事業として最適な事業であるとともに、区のビジョンの基本方針である「安全・安心がつながるまちづくり」に資する事業である。
	事業所管局意見 （建設局　北部地域整備事務所）	当該道路（北余部北交差点～北余部交差点）は道路側溝が未整備であるため、道路雨水が民地に流入しており、道路側溝を早期に整備する必要がある。 平成27年度以降の道路側溝整備実施のため、H26年度において境界調査測量及び実施設計を行う必要がある。
	事業概要	境界調査測量及び実施設計を行なう。 延長　L＝250m
	事業費	4,000　（千円）

4	事業名称	歴史ゾーン整備事業
	区長意見	区域の重要な歴史資源である黒姫山古墳やみはら歴史博物館を有する歴史ゾーンは、美原区の顔となる非常に重要なゾーンと考えており、今回の整備は、新市建設計画を踏まえた、区のビジョンの「美原の未来を創るまちづくり」に資する重要な事業である。
	事業所管局意見 （建築都市局　都市整備推進課）	本事業は、堺市・美原町合併新市建設計画において「広域幹線道路が結節する立地特性を活かして、歴史文化に触れる交流拠点としての整備を図る」と位置づけられており、黒姫山古墳を中心に歴史と暮らしが調和した活気に満ちあふれる交流拠点をめざし整備を進める。具体的には、歴史ゾーン整備区域内における施設を利用するにあたり、周辺駐車場が不足しているため、駐車場の整備を行う。
	事業概要	歴史文化に触れ合う交流拠点として、黒姫山古墳周辺施設の利用にあたり、市有地の有効利用を図り駐車場の整備を行う。
	事業費	37,623　（千円）

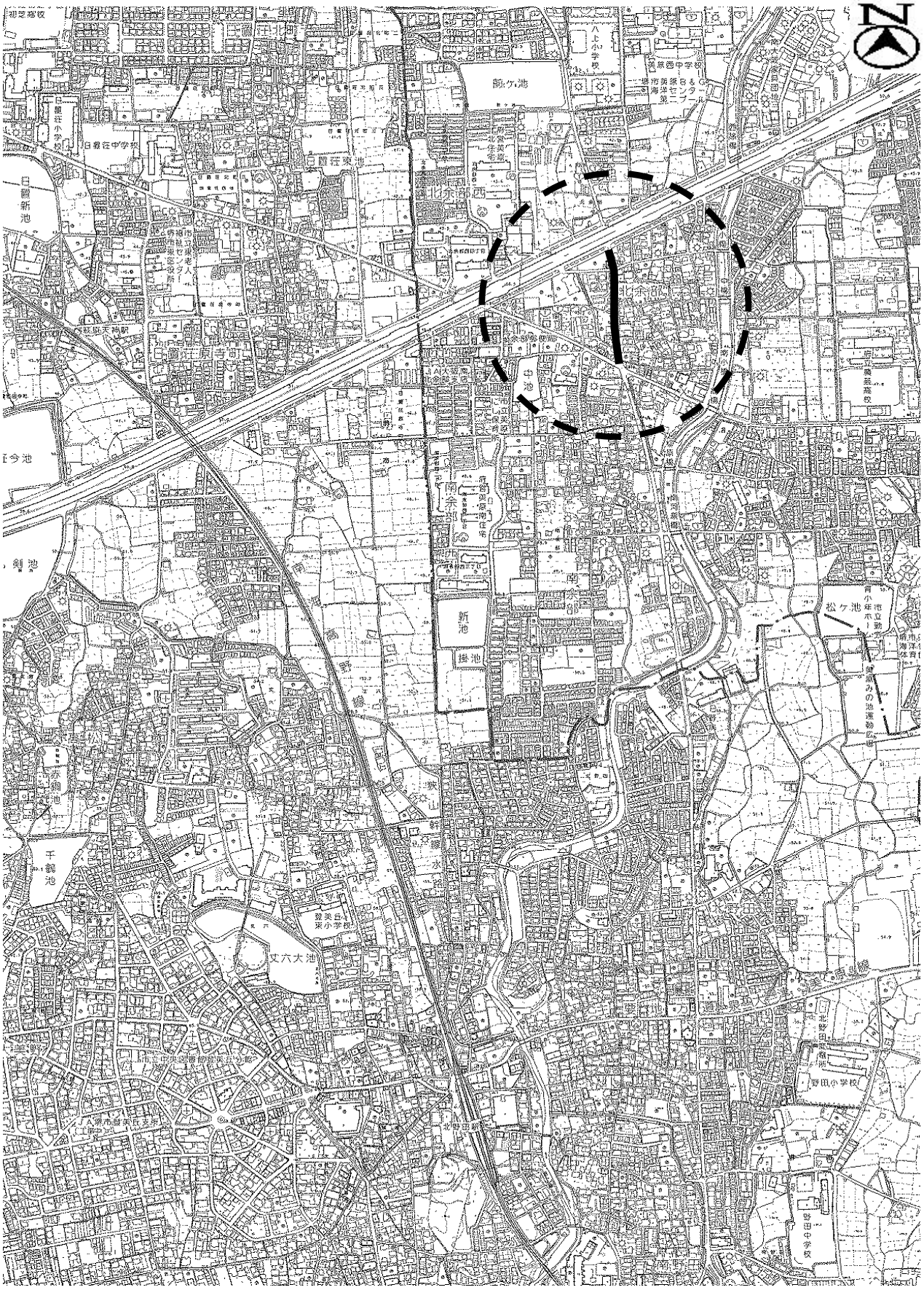
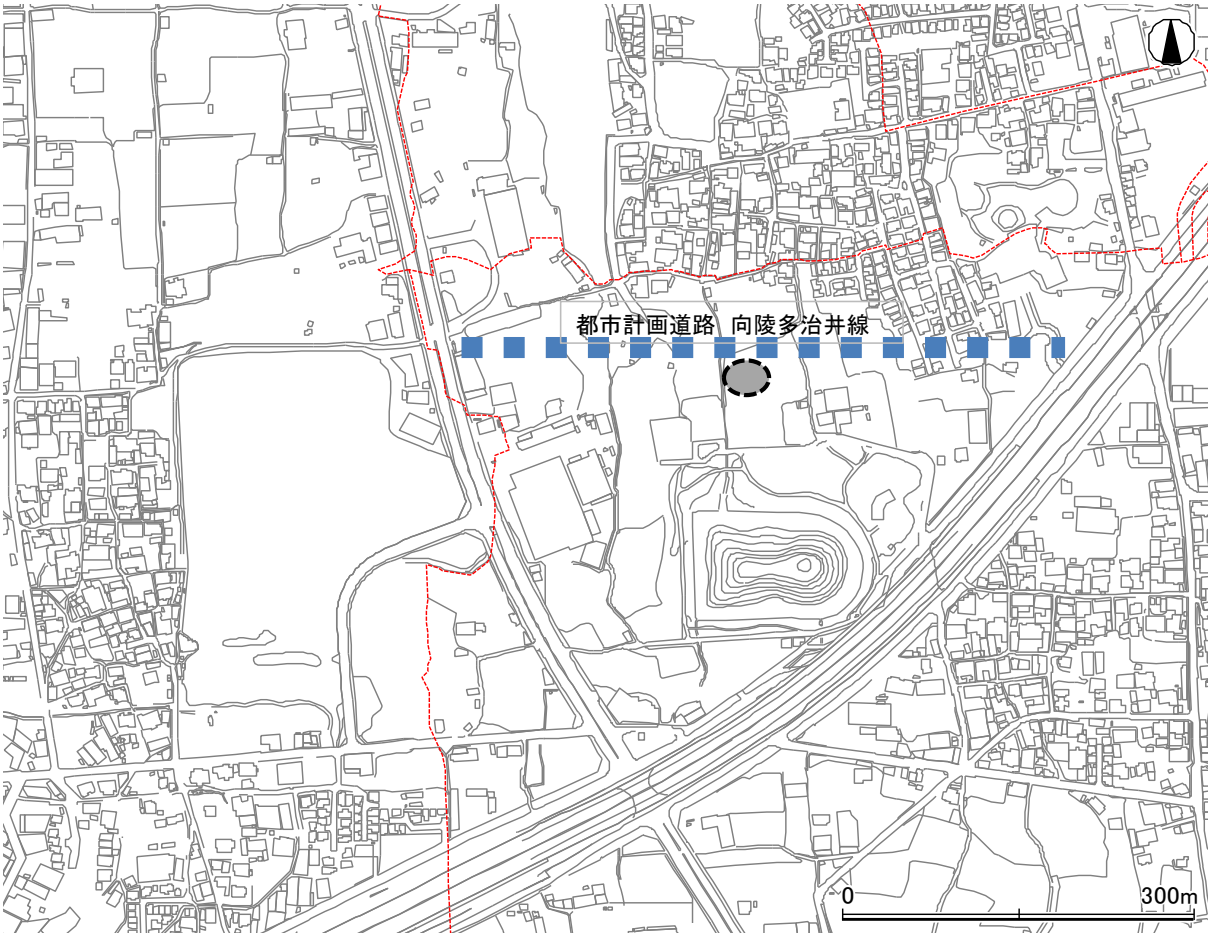
工事(業務)名	阿弥菅生1号線道路改良工事



工事(業務)名	大饗18号線歩道設置工事



工事(業務)名	府道大阪狭山線道路整備工事(側溝整備)



事業名	歴史ゾーン整備事業